



2025年3月期 通期

決算説明資料

(ハイライト情報)

2025年4月28日

蝶理株式会社

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025（CIP2025）」を推進

- ・親会社株主に帰属する当期純利益は100億円台に到達。
- ・経常利益162億円、税金等調整前当期純利益163億円、親会社株主に帰属する当期純利益117億円は、4期連続で過去最高益を更新。

業績概要

- ・前期比で売上高は微増、経常利益段階以下は増益。
- ・繊維事業は減益も堅調。化学品事業は増益。機械事業は黒字転換。

財務基盤

- ・自己資本比率 63.0% 高水準を維持。
- ・ROE※1 13.4%
- ・ROIC※2 11.1%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

株主還元

- ・期末配当金は2024年4月26日公表の配当予想から増配。増配継続。
期末配当81円（20円増配） 年間配当142円
連結配当性向：30.0% 株主資本配当率（DOE）：4.4%

トピックス

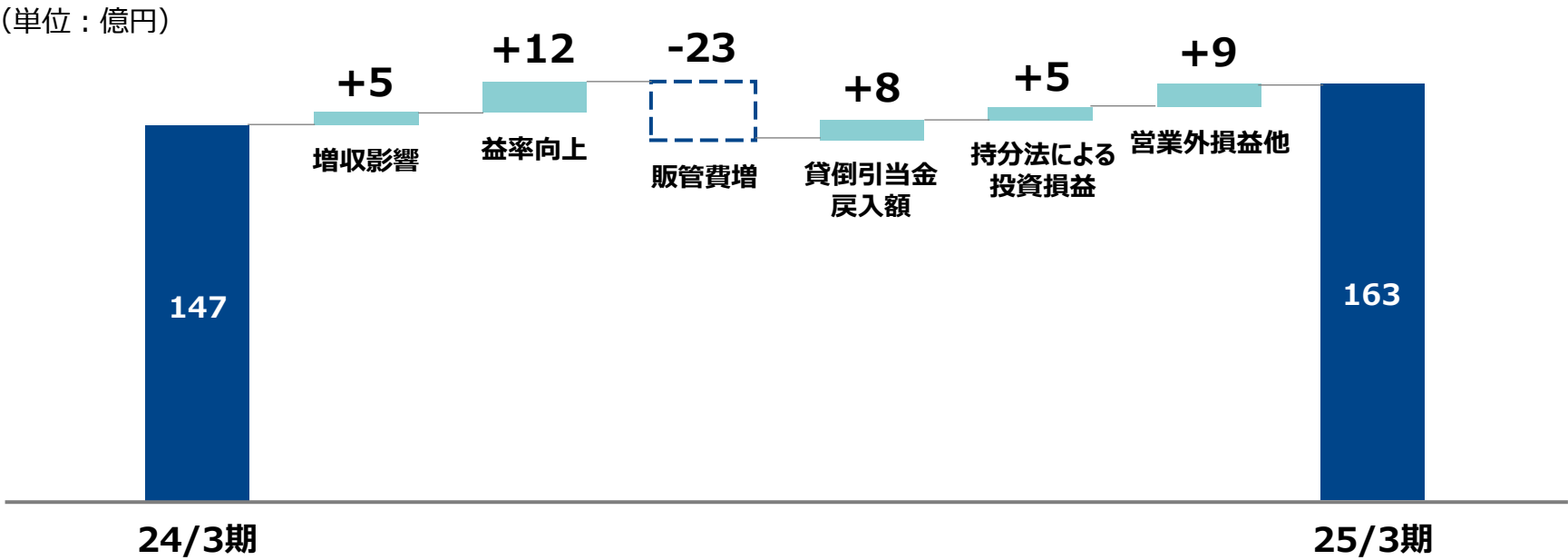
- ・新基幹システム（SAP）は、2025年4月から稼働開始。

POINT

- 日本経済は、個人消費の改善やインバウンド消費の増加により緩やかな回復基調。世界経済は、地政学リスク長期化や中国の景気低迷等により先行き不透明な状況。
- 売上高は微増。人件費増加及び大阪本社移転関連費用を主因に販管費が増加し、営業利益は減益。中国の化学品製造会社グループに係る債権の一部回収による貸倒引当金戻入額や投資有価証券売却益の計上により、税金等調整前当期純利益（セグメント利益）は増益。

	(単位：億円)	24/3期	25/3期	増減額	増減率
売上高		3,077	3,115	+38	+1.3%
売上総利益		387	405	+18	+4.6%
販売費及び一般管理費		237	260	+23	+9.8%
営業利益		150	145	-5	-3.6%
経常利益		145	162	+17	+11.9%
税金等調整前当期純利益		147	163	+16	+11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		96	117	+20	+21.1%

税金等調整前当期純利益の主な増減要因



四半期 業績推移

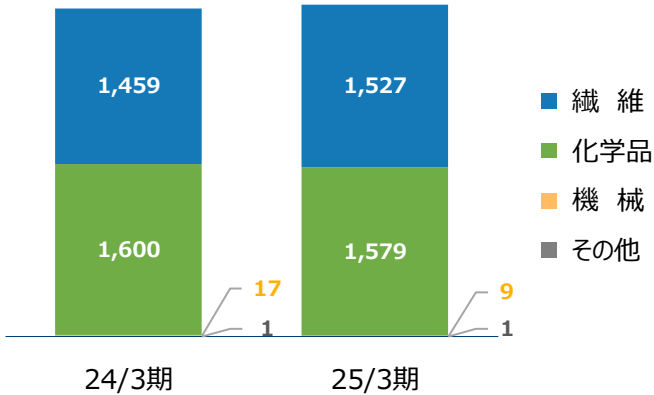
	24/3期					25/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計
売上高	758	771	805	743	3,077	770	775	758	813	3,115
税金等調整前当期純利益又は損失	36	42	42	27	147	56	37	34	36	163
繊維	19	24	21	16	80	26	18	17	16	77
化学品	21	21	19	15	76	28	18	22	22	89
機械	-5	-3	4	-2	-6	1	2	1	2	6
その他※	0	-0	-3	-1	-4	1	-0	-6	-4	-9
親会社株主に帰属する当期純利益	22	28	30	16	96	42	29	21	25	117

※「その他」には調整額を含んでおります。

セグメント業績

売上高

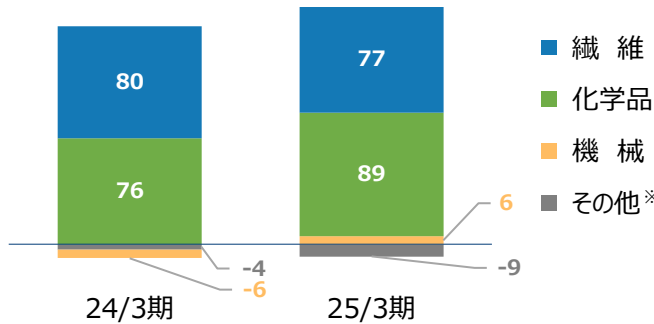
(単位：億円)



	24/3期	25/3期	増減額
繊維	1,459	1,527	+68
化学品	1,600	1,579	-21
機械	17	9	-9
その他	1	1	+0
合計	3,077	3,115	+38

税金等調整前当期純利益又は損失

(単位：億円)



	24/3期	25/3期	増減額
繊維	80	77	-3
化学品	76	89	+12
機械	-6	6	+12
その他※	-4	-9	-5
合計	147	163	+16

※「その他」には調整額を含んでおります。

繊維

増収減益

低調

紳士服・ユニフォーム

堅調

繊維原料・テキスタイル（輸出）・
婦人衣料品

化学品

減収増益

低調

全般的な需要減退・市況低迷

利益

貸倒引当金戻入

機械

減収増益（黒字転換）

回復

為替差損益の改善

形態別売上高

POINT

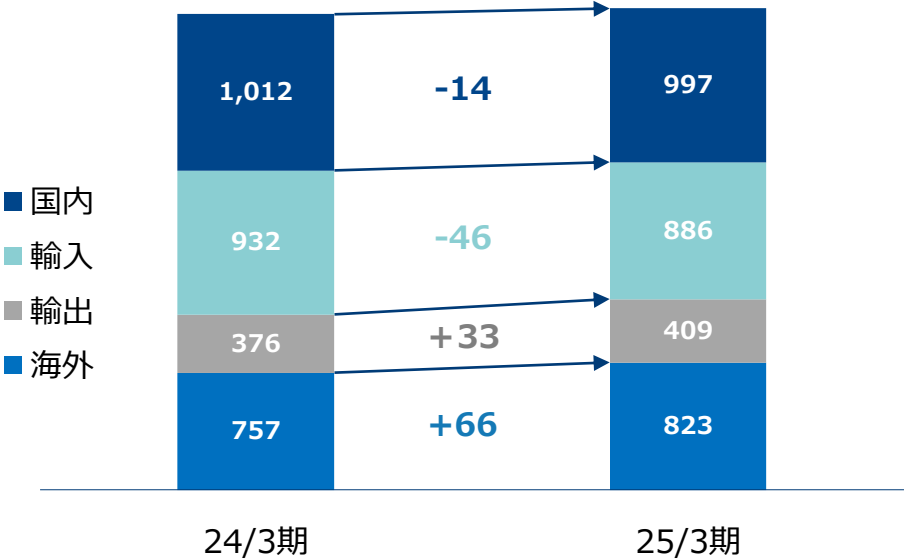
- 国内向け（国内、輸入）が減少。海外向け（輸出、海外）は伸長。
- 貿易比率：68.0%（前期比 +0.9pt）

（単位：億円）

売上高	3,077	売上高	3,115
貿易取引	2,065	貿易取引	2,118
（貿易比率）	（67.1%）	（貿易比率）	（68.0%）

増減

売上高	+38
貿易取引	+53
（貿易比率）	（+0.9pt）



国内売上高 日本国内仕入の日本国内への売上高

貿易取引

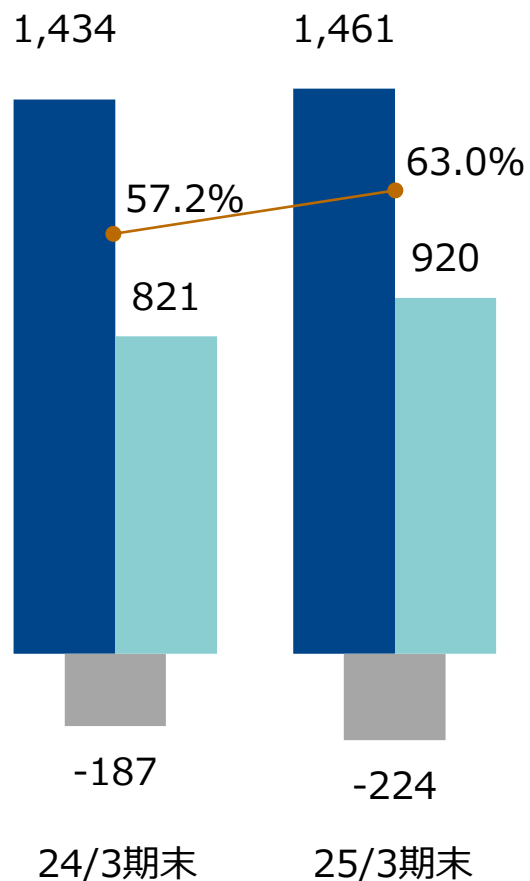
輸入売上高 海外から日本国内への売上高

輸出売上高 日本国内から海外への売上高

海外売上高 海外取引の売上高

(単位：億円)

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



財務健全性

	24/3期末	25/3期末	増減
総資産	1,434	1,461	+27
ネット有利子負債	-187	-224	-37
自己資本	821	920	+100
自己資本比率	57.2%	63.0%	+5.8pt

収益性・資本効率

	24/3期末	25/3期末	増減
ROA※1	6.7%	8.1%	+1.4pt
ROE※1	12.5%	13.4%	+0.9pt
ROIC※2	12.4%	11.1%	-1.3pt
(参考) ROA (経常利益ベース)	10.1%	11.2%	+1.1pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (自己資本 + 有利子負債) 期中平均

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 営業活動：税金等調整前当期純利益（+163億円）、仕入債務の減少（-54億円）、法人税等の支払（-54億円）等により+71億円
- 投資活動：新基幹システムを中心とした無形固定資産の取得（-21億円）、有形固定資産の取得（-7億円）、投資有価証券の売却（+24億円）等により-10億円
- 財務活動：配当金の支払い（-30億円）、借入金返済（-15億円）等により-48億円

（+：キャッシュイン、－：キャッシュアウト）

（単位：億円）

	24/3期	25/3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	97	71	-26
投資活動によるキャッシュ・フロー	-27	-10	+17
財務活動によるキャッシュ・フロー	-54	-48	+6
換算差額	6	8	+2
キャッシュ・フロー合計	22	21	-1
現金及び現金同等物の期末残高	211	232	+21

POINT

- CIP2025最終年度は成長戦略の基盤構築を遂行し、売上高は計画比減収を見込むが、収益性の改善を継続し、利益は安定的に確保する。

Cf.収益性・資本効率

CIP2025目標： ROA※¹ 7%以上 ROE※¹ 12%以上 ROIC※² 約10%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

(単位：億円)		25/3期 実績	26/3期 予想	増減額	CIP2025 計画
売上高		3,115	3,300	+185	3,600
	繊維	1,527	1,660	+133	—
	化学品	1,579	1,630	+51	—
	機械	9	10	+1	—
	その他	1	—	-1	—
税金等調整前当期純利益		163	160	-3	160
	繊維	77	78	+1	75
	化学品	89	89	+0	95
	機械	6	3	-3	—
	その他※	-9	-10	-1	—
親会社株主に帰属する当期純利益		117	110	-7	110

※「その他」には調整額を含んでおります。

配当金

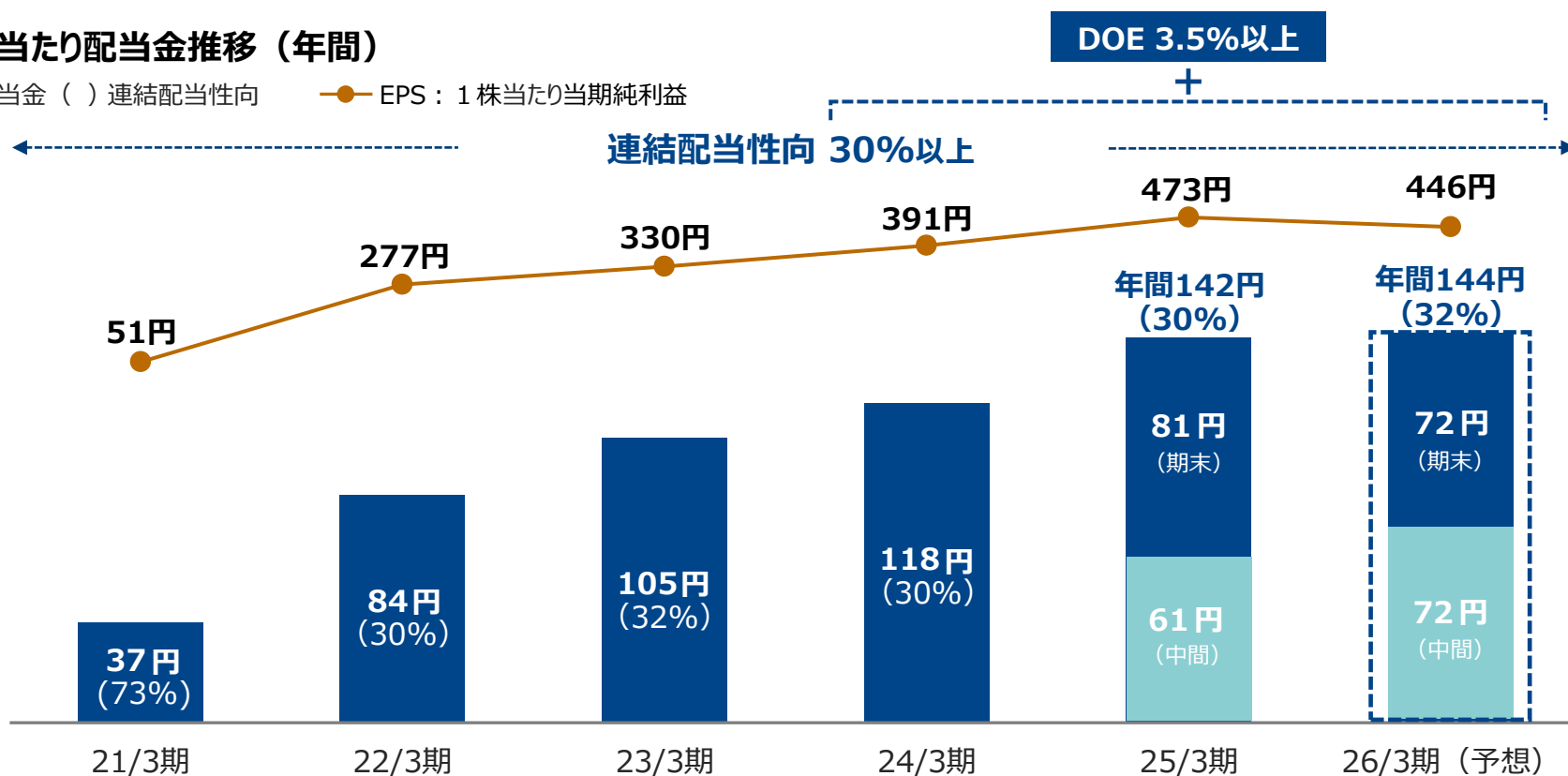
配当方針 連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上。

2025年3月期 期末配当 2025年3月期通期連結業績を踏まえ、期末配当金は従来予想61円から20円増配の81円を実施。中間配当金61円と合わせ、年間配当金は142円。

2026年3月期 配当予想 年間配当予想は2円増配の144円（中間配当72円、期末配当72円）。

1株当たり配当金推移（年間）

■ 配当金（ ）連結配当性向 ● EPS：1株当たり当期純利益





あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。